【３－１】日常生活支え合い実践事業

ふれあいサロン活動による日常生活支援
（　おおい町　）

基礎情報

実施地域　　おおい町全域（サロン実施地区２７か所）
実施主体　　社会福祉法人　おおい町社会福祉協議会
所 在 地　　おおい町本郷８２－１４
代 表 者　　会長　荒木茂夫

平成２３年度の事業概要

サロンへの移動やお出かけサロン（外出型サロン）用に車両を整備し、サロン参加者の送迎や、日常的に外出が困難な方への外出支援の足として活用。
本町全域で現在２７か所のサロンが立ちあがり活動しており、運営については地域のサロンリーダーや福祉推進委員等が中心になり、社会福祉協議会と地域包括支援センターは補助的に関わっている。
近年、本町全域で高齢者の一人暮らしや夫婦だけ世帯が増えており、外出の機会や交流が減る傾向にあるため、社会参加を促した。

現在の活動状況

平成２３年度に引き続きサロン会場への送迎や外出を兼ねたサロンのお出かけサロン等への積極的な参加を促し、継続的な外出支援を実施している。
サロン参加への移動手段が確保できたことにより昼間一人きりで会話もなく閉じこもりがちになっていた足の不自由な高齢者がサロンに参加され仲間づくりやレクリエーションを行う機会をつくっている。
また、多くのサロンでは健康体操や食事会、お茶会、カラオケ等室内メニューが主だったが、車両が整備されたことにより、公園散策やグラウンドゴルフ、花見等野外メニューも増え、活動範囲が広がった。

事業の実績、成果

日常的に外出困難な高齢者の外出への支援を行うことでサロン等への参加者が増加し、地域との交流（社会参加等）を促した。
これまでのサロンは、室内メニューに限定されがちでマンネリ化しやすい内容であったが、外出手段が確保され、晴れた日には近隣の公園散策等の野外行事が増えメニューの幅が広がり参加者も増加した。

工夫した点

サロン参加者募集のチラシに野外メニューを加えたり、送迎車の案内を加え、サロン参加を呼びかけた。

事業の財源

平成２３年度地域支え合い体制づくり事業補助金にて車両を購入。
購入車両の維持管理については町社会福祉協議会の自主財源。
サロン事業運営については、町より事業委託を受けた社会福祉協議会より１サロンに対し年間１万円の活動助成金を交付し、サロン活動の継続実施を推進している。

課題

公共交通機関が使いにくく、外出手段の確保が困難な方で、サロン等に参加したい方がまだまだ潜在すると考えられるので、サービスの周知や関係機関との情報の共有を図る必要がある。
参加者は女性が多いので男性をいかに参加させるかが大きな課題。

今後の目標

・サロンリーダー研修と新規開催地区対象の学習会を実施し、高齢者の生きがいづくりの一環として、ふれあいサロン実施地区と実施回数を増やすよう検討する。
・地域包括支援センターとの連携により、健康チェックや介護予防等のメニューを取り入れていく。
・サロンボランティアの募集や企画運営に関する相談援助を実施する。
・サロンでの交流を通して、隣の人の「顔の見える」関係から「互いを想う」地域づくりを進める。

参加者からのメッセージ

今日はサロンだと思うと元気が湧いてきます。
行事に参加することで、身体に自信がつき、人を労わる気持ちが持てるようになりました。
お出かけサロンもあるので春には近くの桜並木をみんなで見に行きたいです。

問合せ先：社会福祉法人　おおい町社会福祉協議会（TEL：0770-77-3415　FAX：0770-77-1419）